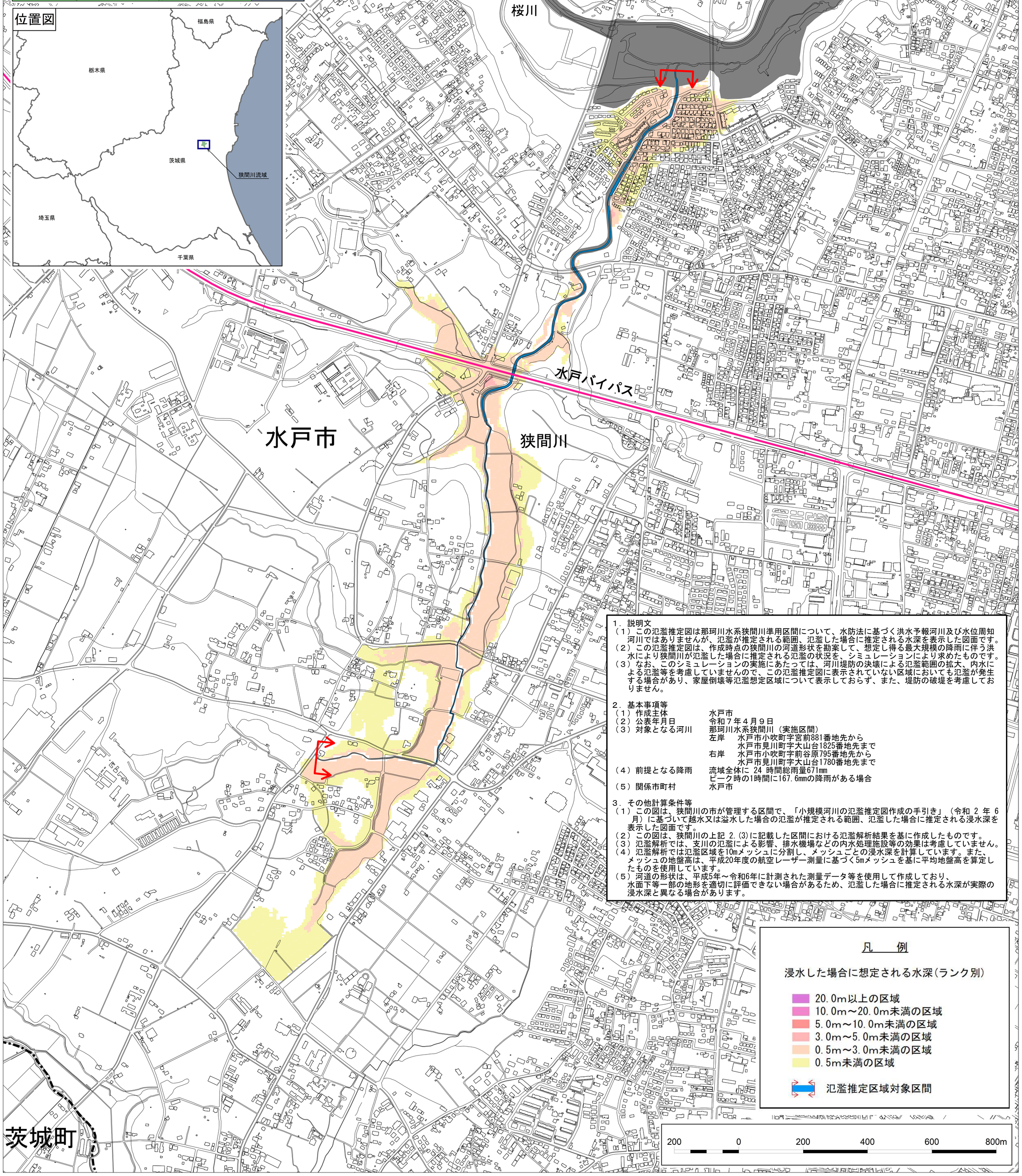
# 那珂川水系　狭間川　氾濫推定図（想定最大規模降雨）




1．説明文
（１）この氾濫推定図は那珂川水系狭間川準用区間について、水防法に基づく洪水予報河川及び水位周知河川ではありませんが、氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される水深を表示した図面です。
（２）この氾濫推定図は、作成時点の狭間川の河道形状を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により狭間川が氾濫した場合に推定される氾濫の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
（３）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、河川堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、内水による氾濫等を考慮していませんので、この氾濫推定図に表示されていない区域においても氾濫が発生する場合があり、家屋倒壊等氾濫想定区域について表示しておらず、また、堤防の破堤を考慮しておりません。

2．基本事項等
（１）作成主体　水戸市
（２）公表年月日　令和７年４月９日
（３）対象となる河川　那珂川水系狭間川（実施区間）
左岸　水戸市小吹町字宮前881番地先から
水戸市見川町字大山台1825番地先まで
右岸　水戸市小吹町字前谷原795番地先から
水戸市見川町字大山台1780番地先まで
（４）前提となる降雨　流域全体に 24 時間総雨量671mm
ピーク時の1時間に167.6mmの降雨がある場合
（５）関係市町村　水戸市

3．その他計算条件等
（１）この図は、狭間川の市が管理する区間で、「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」（令和 2 年 6 月）に基づいて越水又は溢水した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。
（２）この図は、狭間川の上記 2.(3)に記載した区間における氾濫解析結果を基に作成したものです。
（３）氾濫解析では、支川の氾濫による影響、排水機場などの内水処理施設等の効果は考慮していません。
（４）氾濫解析では氾濫区域を10mメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算しています。また、メッシュの地盤高は、平成20年度の航空レーザー測量に基づく5mメッシュを基に平均地盤高を算定したものを使用しています。
（５）河道の形状は、平成5年～令和6年に計測された測量データ等を使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

凡　例
浸水した場合に想定される水深（ランク別）
- 20.0m以上の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

氾濫推定区域対象区間

200　0　200　400　600　800m

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 6JHs 907

縮尺：A1出力時 1/6000　A3出力時 1/12000